

教授

大西 克也

ONISHI, Katsuya

1. 略歴

- 1985年3月 東京大学文学部中国語中国文学専修課程卒業
1985年4月 東京大学大学院人文科学研究科中国語学専攻修士課程入学
1987年3月 東京大学大学院人文科学研究科中国語学専攻修士課程修了
1987年4月 東京大学大学院人文科学研究科中国語学専攻博士課程進学
1988年9月 中華人民共和国北京大学中国語言文学系留学（至1990年2月）
1990年3月 東京大学大学院人文科学研究科中国語学専攻博士課程退学
1990年4月 神奈川大学外国語学部専任講師
1993年4月 神奈川大学外国語学部助教授（至1995年3月）
1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
1998年3月 文部省在外研究員に採用され、中国広州市中山大学に於いて研修（至1998年12月）
2013年1月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（現在に至る）

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国語学、中国古文字学

b 研究課題

(1) 上古中国語の文法研究

構文と文法範疇の相関の変容の諸相、及びそれに関する様々なファクターの解明を目指している。

(2) 戦国秦漢出土文字資料の研究

戦国秦漢時代の出土文字資料の解読の他、言語がどのように文字化されたかという視点に基づき、地域毎の用字法の相違、秦による文字統一の実態や文字政策に関する探究を行っている。

c 概要と自己評価

研究課題(1)に関しては、上古の中国人が認識した世界をどのように言語化したのか、コーパスと残された文献の背後にはどのような世界が広がっているのかという新たな問題意識から研究を進めている。研究課題(2)に関しては、統一前後の出土資料における漢字の使用実態の解明を進めているが、近年は秦系や楚系の文献に見られる他国の文字影響に着目し、一筋縄ではいかぬ文字の歴史の複雑性に焦点を当てている。

d 主要業績

(1) 著書

共著、大西克也、大榎敦弘、『馬王堆出土文献訳注叢書 戦国縦横家書』、東方書店、2015.12

(2) 論文

大西克也、「關於「漢字」一詞產生過程の一點想法」、『第二十五屆中國文字學國際學術研討會論文集』、601-606頁、2014.5

大西克也、「上古漢語“奪取”類双及物結構研究」、『語言学論叢』、49、41-65頁、2014.6

大西克也、「嶽麓書院秦簡をめぐって—赤外線スキャンと『占夢書』」、『書法書学研究』、15、13-19頁、2014.7

大西克也、「従出土資料再論章系字類化的年代」、『古文字研究』、30、557-562頁、2014.9

大西克也、「中国語における指示性範疇化の胎動」、『中国語学』、261、5-25頁、2014.10

大西克也、「第二十四回大会特別講演 文字統一と秦漢の史書」、『書学書道史研究』、24、93-103頁、2014.10

大西克也、「試論上古漢語光杆名詞主語句及其指稱特點」、『承繼與拓新 漢語語言文字學研究』、下、2014.12

大西克也、「清華簡《繫年》の地域性に関する試論——文字学の視点から——」、『資料学の方法を拓る』、14、2015.3

(3) 学会発表

国際、大西克也、「「雅言」獻疑」、第十屆通俗文學與雅正文學 語言與文字 國際學術研討會、台中、國立中興大學、2014.10.25

国際、大西克也、「清華簡《繫年》為楚簡說—從其用字特點探討—」、「源遠流長」漢字國際學術研討會 暨 AEARU 第三屆漢字文化研討會、北京大学、2015.4.11

国際、大西克也、「試論秦簡《官箴》的語言文字特點」、出土文獻與先秦經史國際學術研討會、香港大學百周年校園、2015.10.17

国際、大西克也、「中国語学における木簡研究成果——戦国秦漢時代の上古中国語文法研究を中心に」、韓日木簡ワークショップ、ソウル大学校新陽人文情報館、2016.3.12

(4) **研究テーマ**

文部科学省科学研究費補助金、大西克也、研究代表者、「概念表現と実体表現から見た中国語文法史の展開—構文と文法範疇の相関的変遷の解明」、2014～

文部科学省科学研究費補助金、大西克也、分担者(代表者は東大外)、「Multi Disciplinary Approach による戦国秦漢期新出土資料研究」、2014～

3. 主な社会活動

(1) **他機関での講義等**

セミナー、大東文化大学、「戦国秦漢漢字研究の現在」、2014.1

特別講演、福井県教育委員会、「中国古代文字の変遷——甲骨文字から文字統一前後まで——」、2014.7

特別講演、貞香会、「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」、2015.7

(2) **学会**

国内、中国出土資料学会、庶務委員長、2014.3～

国内、日本中国語学会、副会長、2014.4～2016.3